

令和 7 年度 水道実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード) 37-FE350-02-01-01

建設工事名 岡部町殿地内配水管（老朽管）布設替工事

路線河川名 建設工事箇所 藤枝市 岡部町殿 地内

建設工事金額

工 期 週休2日推進工事補正 (月単位の週休2日(合計))

建設工事概要			
施工延長		418.1	m
HPE径150		327.4	m
HPE径100		83.3	m
HPE径75		3.6	m
HPE径50		0.3	m
仕切弁径150		8	基
仕切弁径100		2	基
仕切弁径75		2	基
仕切弁径50		1	基

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 4 月 基本単価 令和 7 年 4 月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 施工延長	m	418.1			コメント行
- HPE径150	m	327.4			コメント行
- HPE径100	m	83.3			コメント行
- HPE径75	m	3.6			コメント行
- HPE径50	m	0.3			コメント行
- 仕切弁径150	基	8			コメント行
- 仕切弁径100	基	2			コメント行
- 仕切弁径75	基	2			コメント行

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- 仕切弁径50	基	1			コメント行
- 市単独	式	1			
-- 業者購入管材費	式	1			
--- HPEφ150	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ150	本	58			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ150	本	7			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ150	個	15			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ150×45°	個	3			
---- 配水P用 EFチーズ (両受) φ150×φ150	個	2			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EF異径チーズ (両受) φ150×φ100	個	4			
---- 配水P用 EF異径チーズ (両受) φ150×φ 75	個	2			
---- 配水P用 EF片受レデューサ (片受片挿) φ150×φ100	個	1			
---- 配水P用 メカキャップ インナーコア含 φ150	個	1			
--- HPEφ100	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ100	本	14			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ100	本	2			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ100	個	7			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ100×90°	個	2			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ100×45°	個	1			
---- 配水P用 EF片受レデューサ (片受片挿) φ100×φ 75	個	1			
--- HPEφ75・φ50	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ 75	本	1			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ 75	個	3			
---- 配水P用 EF異径チーズ (両受) φ 75×φ 50	個	1			
---- H Iエルボ90° φ 75	個	6			
---- 配水P用 メカPVジョイント インナーコア含 φ 75	個	2			
---- VAジョイント (内面粉体) φ 75	個	2			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ 50	個	1			
--- 仕切弁	式	1			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ 150	基	8			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ 100	基	2			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ 75	基	2			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ 50	基	1			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	13			
--- 管明示・被覆工	式	1			
---- 管明示シート及びロケーティングワイヤー	m	426.9			M0064

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ナイロンスリーブφ150 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	335.6			第 2号表 M0089
---- ナイロンスリーブφ100 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	85.1			第 3号表 M0084
---- ナイロンスリーブφ75 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	5.2			第 4号表 M0065
---- ナイロンスリーブφ50 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	1			第 5号表 M0091
-- 配管工	式	1			
--- HPEφ150	式	1			
---- 管据付工 PE管(融着接合) φ150mm 人力	m	327.4			第 6号表
---- 管継手工 PE管 融着接合(1口) φ150mm	口	59			第 7号表
---- 管継手工 PE管 融着接合(1箇所) φ150mm	箇所	26			第 8号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管継手工 PE管 メカニカル継手 φ150mm	口	1			第 9号表
---- 管切断工 PE管 φ150mm	口	16			第 10号表
--- HPEφ100	式	1			
---- 管据付工 PE管 (融着接合) φ100mm 人力	m	83.3			第 11号表
---- 管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ100mm	口	15			第 12号表
---- 管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ100mm	箇所	10			第 13号表
---- 管切断工 PE管 φ100mm	口	5			第 14号表
--- HPEφ75	式	1			
---- 管据付工 PE管 (融着接合) φ75mm 人力	m	3.6			第 15号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ75mm	箇所	4			第 16号表
---- 管継手工 PE管 メカニカル継手 φ75mm	口	2			第 17号表
---- 管切断工 PE管 φ75mm	口	2			第 18号表
--- HIVPφ75	式	1			
---- 管据付工 VP管 φ75mm 人力	m	5			第 19号表
---- 管継手工 VP管TS継手 φ75mm	口	12			第 20号表
---- 管継手工 VP管 メカニカル継手 φ75mm	口	4			第 17号表
---- 管切断工 VP管 φ75mm	口	8			第 21号表
--- ACPφ75	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管継手工 ACP管 メカニカル継手 φ75mm	口	2			第 17号表
---- 管切断工 ACP管 φ75mm	口	4			第 21号表
--- HPEφ50	式	1			
---- 管据付工 PE管（融着接合） φ50mm 人力	m	0.3			第 22号表
---- 管継手工 PE管 融着接合（1箇所） φ50mm	箇所	1			第 23号表
--- 仕切弁設置工	式	1			
---- 仕切弁設置工 φ150mm 機械 鑄鉄製仕切弁 縦型	基	8			フランジ接合は含まない 第 24号表
---- 仕切弁設置工 φ100mm以下 機械 鑄鉄製仕切弁 縦型	基	4			フランジ接合は含まない 第 25号表
---- 仕切弁・バタフライ弁設置工 φ50mm 人力 仕切弁 バタフライ弁 縦・横型	基	1			フランジ接合は含まない 第 26号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 仕切弁筐設置工					M0018
	箇所	13			第 27号表
--- 管明示・被覆工					
	式	1			
---- 管明示シート及びロケーティングワイヤー設置工					M0067
	m	426.9			第 31号表
---- ナイロンスリーブ被覆工φ150 油類及び有機溶剤浸透防止用					M0090
	m	335.6			第 34号表
---- ナイロンスリーブ被覆工φ100 油類及び有機溶剤浸透防止用					M0085
	m	85.1			第 35号表
---- ナイロンスリーブ被覆工φ75以下 油類及び有機溶剤浸透防止用					M0066
	m	6.2			第 36号表
-- 土工					
	式	1			
--- 管路土工					
	式	1			
---- バックホウ掘削積込(土砂) バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3)					
	m3	260			第 37号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管路埋戻工 (再生砂)					M0077
	m 3	97			第 38号表
---- 管路埋戻工 (C-30) バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) 路床材 各種					
	m 3	160			第 39号表
---- 発生土運搬・処理 (4t・10t積ダンプトラック) (株)鈴木土建 牧之原市笠名字大谷43番1 L=49.5km 仮置き場までL=1.0km					M0031
	m 3	260			第 40号表
---- 舗装版切断					
	m	860			SP 2号表
---- アスファルトカッター汚泥運搬・処理 マゼイク(株)麻機工場 静岡市葵区北2242-129 L=24.2km					M0040
	m 3	1.5			第 43号表
---- 舗装版取壊し積込 (バックホウ) 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3)					
	m 2	257			第 45号表
---- アスファルト塊運搬・処理 (4t積ダンプトラック) 静岡つばさアスコン 岡部町岡部字名木ノ前1944-1 L=7.2km					M0027
	m 3	12			第 46号表
---- 仮舗装工 (車道・路肩部)					
	m 2	200			SP 3号表
---- 仮舗装工 (歩道部)					
	m 2	56			SP 4号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 舗装復旧工	式	1			
- - - 路盤土工	式	1			
- - - - 舗装版切断	m	440			SP 2号表
- - - - 舗装版取壊し積込 (バックホウ) 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ²	583			第 45号表
- - - - アスファルト塊運搬・処理 (4t積ダンプトラック) 静岡つばさアスコン 岡部町岡部字名木ノ前1944-1 L=7.2km	m ³	26			M0027 第 46号表
- - - - バックホウ掘削積込 (土砂) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ³	72			第 37号表
- - - - 発生土運搬・処理 (4t・10t積ダンプトラック) (株)鈴木土建 牧之原市笠名字大谷43番1 L=49.5km 仮置き場までL=1.0km	m ³	72			M0031 第 40号表
- - - 路盤工	式	1			
- - - - 上層路盤 (車道・路肩部)	m ²	430			SP 5号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 上層路盤 (歩道部)	m ²	53			SP 6号表
---- 上層路盤 (歩道乗入れ部)	m ²	3			SP 7号表
---- 不陸整正	m ²	97			SP 8号表
--- 舗装工	式	1			
---- 表層 (車道・路肩部)	m ²	504			SP 9号表
---- 表層 (歩道部)	m ²	71			SP 10号表
---- 表層 (歩道乗入れ部)	m ²	8			SP 11号表
--- 区画線工	式	1			
---- 停止線 実践 45cm 塗布厚1.5mm 白	m	3			第 48号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 外側線 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	132			第 49号表
-- 安全費	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			M0044 第 50号表
直接工事費計					
工種区分 No. 63 開削工事及び小口径推進工事等					
共通仮設費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
技術管理費	式	1			M0070 第 53号表
共通仮設費計					
純工事費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場管理費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

MOO64					
管明示シート及びロケーティングワイヤー					
第 1号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ロケーティングワイヤー 100m	m	110			
埋設標識シート (ダブル) 幅 15cm 50m/巻	m	100			
計					
単価	m				

1, #等: 諸經費等対象額

M O O 8 4		ナイロンスリーブφ100 油類及び有機溶剤浸透防止用		第 3号表	
金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配水P用 ナイロンスリーブ φ100	枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻	巻	1.22			
配水P用 防食テープ 10m/巻	巻	5.925			
計					
単価	m				

管据付工 PE管 (融着接合) φ150mm
人力

第 6号表

金 円 10 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
配管工		人			
普通作業員		人			
計					
単価		m			

管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ150mm						第 7号表
金 円		1 口当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ150mm						第 8号表
金 円 1 箇所 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				1
普通作業員		人				1
諸雑費		%				
計						

管継手工 PE管 メカニカル継手
φ150mm

第 9号表

金 円 1 口当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
配管工					
		人			
普通作業員					
		人			
諸雑費					
		%			
計					

1, #等: 諸経費等対象額

管切断工 PE管 φ150mm					
第 10号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管据付工 PE管（融着接合） φ100mm 人力						第 11号表
金 円 10 m 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
計						
単価		m				

管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ100mm						第 12号表
金 円 1 口当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ100mm					
第 13号表					
金	円	1 箇所 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
配管工					1
普通作業員					1
諸雑費					
計					

管切断工 PE管 φ100mm					
第 14号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管据付工 PE管 (融着接合) φ75mm
人力

第 15号表

金 円 10 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
配管工		人			
普通作業員		人			
計					
単価		m			

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ75mm						第 16号表
金 円 1 箇所 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管継手工 PE管 メカニカル継手 φ75mm						第 17号表	
金 円 1 口当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
配管工						1	
		人					
普通作業員						1	
		人					
諸雑費							
		%					
計							

管切断工 PE管 φ75mm					
第 18号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管据付工 VP管 φ75mm
人力

第 19号表

金 円 10 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
配管工		人			
普通作業員		人			
計					
単価		m			

管継手工 VP管TS継手 φ75mm						第 20号表
金 円 2 口当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						
単価						
		口				

管切断工 VP管 φ75mm					
第 21号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管据付工 PE管（融着接合） φ50mm 人力					
第 22号表					
金	円	10 m 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
配管工					
				人	
普通作業員					
				人	
計					
単価					
				m	

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ50mm						第 23号表
金 円 1 箇所 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

仕切弁設置工 φ150mm 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型						第 24号表
金	円	1 基 当り	フランジ接合は含まない			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラック運転 4 - 4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]		時間				
計						

仕切弁設置工 φ100mm以下 機械 鋳鉄製仕切弁 縦型						第 25号表
金	円	1 基 当り	フランジ接合は含まない			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラック運転 4 - 4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]		時間				
計						

仕切弁・バタフライ弁設置工 φ50mm 人力 仕切弁 バタフライ弁 縦・横型						第 26号表
金	円	1 基 当り	フランジ接合は含まない			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
計						

M O O 1 8 仕切弁篋設置工 第 27号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仕切弁篋鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満規格相当	組	1			M0019 第 28号表
仕切弁篋ボックス設置工 円形250×150、重量30kg未満規格相当	組	1			M0020 第 29号表
仕切弁篋底板設置工 円形250×40、重量30kg未満規格相当	個	1			M0021 第 30号表
計					

MOO19					
仕切弁筐鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満規格相当					
第 28号表					
金 円 1 組 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員		人			
諸雑費		式	1		
計					

MOO20

仕切弁筐ボックス設置工
円形250×150、重量30kg未満規格相当

第 29号表

金 円 1 組 当 り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
諸雑費					
計	式	1			

MOO21					
仕切弁筐底板設置工 円形250×40、重量30kg未満規格相当					
第 30号表					
金 円 1 個 当 り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員					
		人			
諸雑費					
		式	1		
計					

MOO67		管明示シート及びロケーティングワイヤー設置工				第 31号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋設標識シート工		m	100			第 32号表
ロケーティングワイヤー設置工		m	100			T0001 第 33号表
計						
単価		m				

埋設標識シート工

第 32号表

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員		人			
単価		m			

T O O O 1

ロケーティングワイヤー設置工

第 33号表

金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
計					
単価	m				

M O O 9 0		ナイロンスリーブ被覆工φ150 油類及び有機溶剤浸透防止用				第 34号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

M0085		ナイロンスリーブ被覆工φ100 油類及び有機溶剤浸透防止用		第 35号表		
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

M O O 6 6		ナイロンスリーブ被覆工φ75以下 油類及び有機溶剤浸透防止用				第 36号表	
金	円	100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
配管工		人					
普通作業員		人					
諸雑費		式	1				
計							
単価		m					

バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 37号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

MOO77 管路埋戻工 (再生砂) 第 38号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂基礎工 10 m3以上	m3	100			
再生砂 (埋戻し用)	m3	126			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m3				

管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路床材 各種					
第 39号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
クラッシャーラン C-30 30-0mm	m ³	126			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

MOO31 発生土運搬・処理 (4t・10t積ダンプトラック) (株)鈴木土建 牧之原市笠名字大谷43番1 L=49.5km 仮置き場までL=1.0km					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬・4t積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) DID区間有り, L=1km, 土砂	m3	1			第 41号表
積込 (ルーズ)	m3	1.2			SP 1号表
ダンプトラック運搬・10t積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3) DID区間有り, L=27.1km, 土砂	m3	1			第 42号表
残土処分費 (普通土) (株)鈴木土建 牧之原市笠名字大谷43番1	m3	1.2			
計					

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) DID区間有り, L=1km, 土砂					
第 41号表					
金	円	10 m ³ 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費:良好				日	
計					
単価				m ³	

ダンプトラック運搬・10t積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3) DID区間有り, L=27.1km, 土砂					
第 42号表					
金	円	100 m3 当り			
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
ダンプトラック運搬 10t積級 タイヤ損耗費:良好		日			
計					
単価		m3			

M O O 4 O					
アスファルトカッター汚泥運搬・処理 マセリヤル(株)麻機工場 静岡市葵区北2242-129 L=24.2Km					
第 43号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
アスファルトカッター汚泥処分費 マセリヤル(株)麻機工場 静岡市葵区北2242-129		m3	1		
アスファルトカッター汚泥運搬 L=60.0Km圏内		m3	1		M0080
計					第 44号表

M O O 8 0		アスファルトカッター汚泥運搬 L=60.0km圏内		第 44号表		
金	円	15 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
汚泥吸排車〔トラック架装型〕 積載質量3.1-3.5t 吸入管径φ75mm		時、日				換算供用日（損料表15欄）
運転手（一般）		人				
軽油 バトロール給油		L	35.8			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2-3t 良好		供用日				
諸雑費		式				
計						
単価		m3				

舗装版取壊し積込（バックホウ） 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 45号表					
金 円 100 m ² 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ²				

MOO27					
アスファルト塊運搬・処理 (4 t 積ダンプトラック) 静岡つばさアスコン 岡部町岡部字名木ノ前1944-1 L=7.2km					
第 46号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) DID区間有り, L=7.2km, As塊	m3	1			第 47号表
アスガラ処分費 静岡つばさアスコン 岡部町岡部字名木ノ前1944-1	m3	1			
計					

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) DID区間有り, L=7.2km, As塊 金 円 10 m ³ 当り						第 47号表
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費:良好	日					
計						
単価	m ³					

<div> <div>区画線設置〔熔融式手動〕 実線 45cm 塗布厚1.5mm 白</div> <div>第 48号表</div> </div>					
<div> <div>金 円 1000 m 当り</div> <div>積 算 項 目</div> <div>単位</div> <div>数量</div> <div>単 価</div> <div>金 額</div> <div>摘 要</div> </div>					
<div> <div>区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 45cm 時間の制約 無 機・労</div> <div>1</div> <div>標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕</div> </div>					
<div> <div>〔補正係数：週休2日補正〕</div> <div>X</div> </div>					
<div> <div>補正後標準単価</div> <div>m</div> <div>1,000</div> </div>					
<div> <div>路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0</div> <div>2</div> </div>					
<div> <div>道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm</div> <div>k g</div> <div>1,700</div> </div>					
<div> <div>道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm</div> <div>k g</div> <div>75</div> </div>					
<div> <div>接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9</div> <div>2</div> </div>					
<div> <div>接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9</div> <div>k g</div> <div>75</div> </div>					
<div> <div>軽油 パトロール給油</div> <div>2</div> </div>					
<div> <div>軽油 パトロール給油</div> <div>l</div> <div>73</div> </div>					
<div> <div>諸雑費</div> <div>%</div> </div>					

第 48号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 49号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	40			2
諸雑費	%				

第 49号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

MOO44

交通誘導警備員

第 50号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員		式	1			第 51号表
交通誘導警備員		式	1			第 52号表
計						

交通誘導警備員

第 51号表

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	70			35日、2人
計						

交通誘導警備員

第 52号表

交通誘導警備員						第 52号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B						3日、14人
		人	42			
計						

MOO70					
技術管理費					
第 53号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験	件	1			
通水試験工 φ800mm以下 既設管と連絡あり	m	426.9			第 54号表
計					

通水試験工 φ800mm以下 既設管と連絡あり						第 54号表
金 円		500 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
器具損料及び諸雑費						
		%				
計						
単価						
		m				

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
横込 (ルーズ)	土質＝土砂，作業内容＝土量 5 0，0 0 0 m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 1 号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝1 5 c m 以下	SP 2 号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1. 4 m 未満（1 層当り平均仕上り厚 5 0 m m 以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し & アスコン規格＝再生密粒度アスコン（1 3） A 配合，＊1 層当り平均仕上り厚＝4 0 m m	SP 3 号表
表層 (歩道部)	平均幅員＝1. 4 m 未満（1 層当り平均仕上り厚 5 0 m m 以下），材料＝細粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し & アスコン規格＝再生細粒度アスコン（1 3） A 配合，＊1 層当り平均仕上り厚＝3 0 m m	SP 4 号表
上層路盤 (車道・路肩部)	材料＝粒度調整碎石 選択，施工区分＝1 層施工 ＊全仕上り厚＝1 5 0 m m，& 路盤材規格＝粒度調整碎石（M - 3 0）	SP 5 号表
下層路盤 (歩道部)	施工区分＝1 層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝1 0 0 m m，& 路盤材規格＝クラッシャーラン C - 3 0	SP 6 号表
下層路盤 (歩道部)	施工区分＝2 層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝2 5 0 m m，& 路盤材規格＝クラッシャーラン C - 3 0	SP 7 号表
不陸整正	補足材料の有無＝有り，補足材料平均厚さ＝2 9 m m 以上 3 4 m m 未満，補足材料＝補足材 選択 & 補足材料規格＝粒度調整碎石 M - 3 0	SP 8 号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1. 4 m 以上 3. 0 m 以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 & アスコン規格＝再生密粒度アスコン（1 3） A 配合，＊1 層当り平均仕上り厚＝5 0 m m，& 瀝青材料規格＝プライムコート P K - 3	SP 9 号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
表層 (歩道部)	平均幅員＝1.4 m未満 (1層当り平均仕上り厚50 mm以下), 材料＝細粒度アスコン 選択, 瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生細粒度アスコン (13) A配合, *1層当り平均仕上り厚＝30 mm, &瀝青材料規格＝プライムコート P K - 3	SP 10号表
表層 (歩道部)	平均幅員＝1.4 m以上, 材料＝密粒度アスコン 選択, 瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン (13) A配合, *1層当り平均仕上り厚＝50 mm, &瀝青材料規格＝プライムコート P K - 3	SP 11号表

数 量 調 整 表

岡部町殿地内配水管(老朽管)布設替工事

	種別	計算式				設計数量
管布設工						
HPE φ 150布設工						
	ポリ管据付工	φ 150	別紙参照	= 327.4	327.4	327.4 m
	ポリ管融着継手工	φ 150 1口	別紙参照	= 59	59	59 口
		φ 150 2口	別紙参照	= 26	26	26 箇所
	ポリ管メカ継手工	継手 φ 150	別紙参照	= 1	1	1 口
	ポリ管切断工	φ 150	別紙参照	= 16	16	16 口
HPE φ 100布設工						
	ポリ管据付工	φ 100	別紙参照	= 83.3	83.3	83.3 m
	ポリ管融着継手工	φ 100 1口	別紙参照	= 15	15	15 口
		φ 100 2口	別紙参照	= 10	10	10 箇所
	ポリ管切断工	φ 100	別紙参照	= 5	5	5 口
HPE φ 75布設工						
	ポリ管据付工	φ 75	別紙参照	= 3.6	3.6	3.6 m
	ポリ管融着継手工	φ 75 2口	別紙参照	= 4	4	4 箇所
	ポリ管メカ継手工	継手 φ 75	別紙参照	= 2	2	2 口
	ポリ管切断工	φ 75	別紙参照	= 2	2	2 口
HIVP φ 75布設工						
	塩ビ管据付工	φ 75	別紙参照	= 5.0	5.0	5.0 m
	ビニル管TS継手工	φ 75 1口	別紙参照	= 12	12	12 口
	ビニル管メカ継手工	継手 φ 75	別紙参照	= 4	4	4 口
	ビニル管切断工	φ 75		= 8	8	8 口
AP φ 75布設工						
	石綿管メカ継手工	継手 φ 75	別紙参照	= 2	2	2 口
	石綿管切断工	φ 75	別紙参照	= 4	4	4 口

		種別	計算式				設計数量
	HPE φ 50布設工						
	ポリ管据付工	φ 50	別紙参照	=	0.3	0.3	0.3 m
	ポリ管融着継手工	φ 50 2口	別紙参照	=	1	1	1 箇所
	仕切弁設置工						
	仕切弁設置工	φ 150	別紙参照	=	8	8	8 基
		φ 100	別紙参照	=	2	2	2 基
		φ 75	別紙参照	=	2	2	2 基
		φ 50	別紙参照	=	1	1	1 基
	仕切弁筐設置工		8 + 2 + 1	=	13	13	13 箇所
	管明示・被覆工						
	埋設シート設置工 及びLワイヤー設置工		別紙参照	=	426.9	426.9	426.9 m
	ナイロンスリーブ被覆工	φ 150	別紙参照	=	335.6	335.6	335.6 m
		φ 100	別紙参照	=	85.1	85.1	85.1 m
		φ 75	別紙参照	=	5.2	5.2	5.2 m
		φ 50	別紙参照	=	1.0	1.0	1.0 m

	種別	計算式							設計数量		
土工	管路土工										
	機械掘削		54.6	+	61	+	144.8	+	4		
								+	0	= 264.4	264.4 260 m3
	砂基礎工	再生砂	20.1	+	21.9	+	53.3	+	1.4		
								+	0	= 96.7	96.7 97 m3
	管路埋戻工	C-30	32.8	+	37.7	+	86	+	2.6		
								+	0	= 159.1	159.1 160 m3
	発生土処分・運搬		264.4							= 264.4	264.4 260 m3
	舗装切断工	t=15cm以下	A工区・バイパス (87.5 + 72.0 + 28.9 D工区 E・F工区 + 232.1 + 7) × 2							= 855.0	855.0 860 m
	Asカッター汚泥運搬・処分	管布設時	855.0	×	0.023	×	0.05			= 0.98	
		本復旧時	437.5	×	0.023	×	0.05			= 0.50	1.48 1.5 m3
	As舗装版取り壊し	既設舗装 既設仮舗装	別紙参照 (N5タイプ) 0.0 + (N4タイプ) 200.40 + (歩道タイプ) 56.10 + = 256.5							256.5 257 m2	
As運搬・処分	既設舗装	0.00	×	0.1	+	200.40	×	0.05			
					+	56.10	×	0.03	= 11.70	11.7 12 m3	
仮舗装工（車道） 再生密粒As13	t = 4cm	200.40							= 200.4	200.4 200 m2	
仮舗装工（歩道） 再生細粒As13	t = 3cm	56.10							= 56.1	56.1 56 m2	

	種別	計算式	設計数量
舗装復旧工			
路盤土工			
As舗装切断工	t=15cm以下	$ \begin{aligned} & \text{A工区} \quad \text{B工区} \quad \text{C工区} \\ & (\quad 76.0 \quad + \quad 72.0 \quad + \quad 28.9 \quad) \\ & \quad \quad \quad \text{D工区} \quad \quad \quad \text{E工区} \\ & \quad \quad \quad + \quad 207.6 \quad + \quad 0.0 \quad) \\ & \quad \quad \quad \times \quad 1 \\ & \text{D工区} \quad \quad \quad \text{E工区} \\ & (\quad 19.5 \quad + \quad 2.8 \quad \\ & \quad \quad \quad \text{F工区} \\ & \quad \quad \quad + \quad 4.2 \quad) \\ & \quad \quad \quad \times \quad 2 \quad = \quad 437.5 \end{aligned} $	440 m
As舗装版取り壊し	既設舗装 t=15cm以下	$ \begin{aligned} & \text{市道(N5)} \quad \text{本復旧} \\ & \text{図面参照} \quad 0.0 \quad + \quad 582.79 \quad = \quad 582.79 \end{aligned} $	583 m ²
As運搬・処分	既設舗装 仮舗装	$ \begin{aligned} & (0 - 0) \quad \times \quad 0.1 \\ & + \quad (503.99 - 200.4) \quad \times \quad 0.05 \\ & \quad \quad \quad + \quad (78.8 - 56.1) \quad \times \quad 0.03 \quad = \quad 15.86 \\ & 200.40 \quad \times \quad 0.04 \quad + \quad 56.10 \quad \times \quad 0.03 \quad = \quad 9.70 \end{aligned} $	26 m ³
路盤掘削	※上層路盤	$ \begin{aligned} & \text{別紙参照} \quad \text{※0.045根拠} \\ & \quad \quad \quad \ll (0.60 \times 0.04 + 0.6 \times 0.05) / 1.20 \gg \\ & \text{市道車道区間：} \quad 226.08 \quad \times \quad (\quad 0.20 \quad - \quad 0.045 \quad) \quad = \quad 35.04 \\ & \text{県道車道区間：} \quad 203.84 \quad \times \quad (\quad 0.20 \quad - \quad 0.046 \quad) \quad = \quad 31.39 \\ & \quad \text{歩道：} \quad 53.10 \quad \times \quad (\quad 0.13 \quad - \quad 0.03 \quad) \quad = \quad 5.31 \\ & \text{歩道（乗入れ）：} \quad 3.00 \quad \times \quad (\quad 0.28 \quad - \quad 0.03 \quad) \quad = \quad 0.75 \end{aligned} $	72 m ³
発生土処分・運搬		$72.5 \quad = \quad 72.49$	72 m ³

			種別	計算式						設計数量			
	路盤工	車道上層路盤(M-30)	t =15cm	(N4タイプ) (N5タイプ)									
			別紙参照	429.92	+	0.00	=	429.9	429.9	430 m2			
		歩道上層路盤(C-30)	t =10cm	53.10					=	53.1	53.1	53 m2	
			t =25cm	3.00					=	3.0	3.0	3 m2	
		不陸整正	表層工→ 上層路盤→	503.99	+	70.80	+	8.0					
					－	429.92	－	56.1	=	96.77	96.77	97 m2	
	舗装工	表層工（市道） 再生密粒As13	t =5cm	A工区 B工区 C工区									
				別紙参照	122.50	+	108.00	+	43.35				
						D工区 E・F工区							
						+	220.34	+	9.80	=	503.99	504.0	504 m2
		表層工（市道）歩道 再生細粒As13	t =3cm	D工区									
				図面参照	70.80	=	70.8	70.8	71 m2				
		表層工（市道）歩道 再生密粒As13	t =3cm	D工区									
				図面参照	8.00	=	8.0	8.0	8 m2				
	区画線工	停止線	W=45cm	図面参照									
				3.00	=	3.00	3.00	3 m					
外側線	W=15cm	図面参照											
		131.5	=	131.5	131.5	132 m							
交通管理													
	安全費	交通誘導員	2人	35	×	2	=	70	70	70人			
			3人	14	×	3	=	42.0	42.0	42人			

岡部町殿地内配水管(老朽管)布設替工事

全体数量集計表

		施工延長	HPE φ 150	HPE φ 100	HPE φ 75	HPE φ 50	HIVP φ 75	PEP φ 50	仕切弁 φ 150 L=1020	仕切弁 φ 100 L=860	仕切弁 φ 75 L=780	仕切弁 φ 50 L=680	消火栓
工区	A	77.1	74.1						3				
	Aバイパス			10.6						1			
	B	73		72.2						1			
	C	28.9	25.3	0.5	0.2		2.5		1				
	D	232.1	228						4				1
	E	2.8			2	0.3					1	1	
合計		418.1m	327.4m	83.3m	3.6m	0.3m	5m	0m	8基	2基	2基	1基	1箇所

各工種数量一覧表

	φ 150												
	不断水穿孔	フランジ接合	ポリ管 融着(EF継手)		ポリ管	メカニカル継手		ビニル管(SUS含む)		ビニル管継手	管切断工		
	φ 150	φ 150	1口	2口	メカキャップ	継手	撤去	メカキャップ	メカ継手	TS継手	ポリ管	鋳鉄管	ビニル管
A			13	10							16		
C			5	3									
D			41	13	1								
合計	0箇所	0口	59口	26箇所	1口		0口	0口		0口	16口	0口	0口

	φ 100												
	不断水穿孔	フランジ接合	ポリ管 融着(EF継手)		ポリ管 メカニカル継手			ビニル管		ビニル管継手	管切断工		
	φ 100	φ 100	1口	2口	メカキャップ	継手	撤去	メカキャップ	メカ継手	TS継手	ポリ管	鋳鉄管	ビニル管
Aバイパス			1	5							5		
B			13	5									
C			1										
合計	0箇所	0口	15口	10箇所	0口		0口	0口		0口	5口	0口	0口

	φ 75												
	ポリ管 融着(EF継手)		ポリ管 メカニカル継手			石綿管 メカニカル継手	ビニル管継手(SUS含む)			管切断工			
	1口	2口	メカキャップ	継手	撤去	継手	メカ継手	メカ撤去	TS継手	ポリ管	石綿管	ビニル管	鋼管
C				1		1	2		6	2	4	8	
E		2											
F		2		1		1	2		6				
合計	0口	4箇所	2口		0口	2口	4口	0口	12口	2口	4口	8口	0口

		φ 50									
		ポリ管継手	ポリ管 融着(EF継手)	ポリ管 メカニカル継手		鋳鉄管 メカ継手		ビニル管継手		鋼管ねじ込み 接合工	管切断工
		1口	1口	2口	メカキャップ	継手	撤去	メカ継手	TS継手	1口	ポリ管 ビニル管
E				1							
合計		0口	0口	1箇所	0箇所		0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0口

		ドレン				
		ポリ管 融着(EF継手)	フランジ接合	鋼管ねじ込み 接合工	ビニル管 メカ継手	ビニル管TS継手
		1口	2口	φ 65以下 1口	1口	1口 2口
合計		0口	0箇所	0口	0口	0箇所

		埋設表示シート+ナイロンスリーブ +ロケーティングワイヤー (管延長+仕切弁長)			
		φ 150	φ 100	φ 75	φ 50
		A	77.2		
Aバイパス			11.5		
B			73.1		
C		26.3	0.5	0.2	
D		232.1			
E				2.8	1.0
F				2.2	
合計		335.6m	85.1m	5.2m	1m

工区		舗装区分	舗装延長 (m)	仮舗装 幅	上層路盤 幅	本舗装 幅	仮舗装		舗装区分								区画線 (m)		
									1		2		3			4			
									車道(N4交通)		歩道(細粒)		車道(N5交通)			歩道(乗入れ)			
									表層工	上層路盤	表層工	上層路盤	表層工	基層工	上層路盤	表層工		上層路盤	
		t=4cm	t=3cm	t=5cm	t=15cm	t=3cm	t=10cm	t=5cm	t=5cm	t=15cm	t=5cm	t=25cm	外側線 W=15cm						
A	No.0～ No.1+33.24	1	73.2	0.6	1.20	1.40	43.92		102.48	87.84									
	No.1+38.94～ No.2+1.69	1	2.8	0.6	1.20	1.40	1.68		3.92	3.36									
	バイパス管路	1	11.5	0.6	1.20	1.40	6.90		16.10	13.80									
B	No.10～ No.11+31.95	1	72.0	0.6	1.20	1.50	43.20		108.00	86.40									
C	No.20～ No.20+28.94	1	28.9	0.6	1.20	1.50	17.34		43.35	34.68									
D	No.30～ No.33+11.51	1	131.5	0.6	1.40	1.60	78.90		210.40	184.10							131.5		
	No.33+11.51～ No.33+27.49	2	16.0	0.6	0.60	0.80		9.60			12.80	9.60							
	No.33+27.49～ No.33+32.49	4	5.0	0.6	0.60	1.60		3.00						8.00	3.00				
	No.33+32.49～ No.35+23.01	2	70.5	0.6	0.60	0.80		42.30			56.40	42.30							
	No.35+23.01～ No.35+31.01	1	8	0.6	1.40	1.40	4.80		11.20	11.20									
	No.35+31.01～ No.35+33.03	2	2	0.6	0.60	0.80		1.20			1.60	1.20							
	消火栓分控除	1	-0.9	0.6	1.40	1.40	-0.54		-1.26	-1.26									
E	No.40～ No.40+2.78	1	2.8	0.6	1.40	1.40	1.68		3.92	3.92									
D	No.50～ No.50+4.18	1	4.2	0.6	1.40	1.40	2.52		5.88	5.88									
		合計					200.40	56.10	503.99	429.92	70.80	53.10				8.00	3.00	131.5	
	256.50																		

岡部町殿地内配水管(老朽管)布設替工事

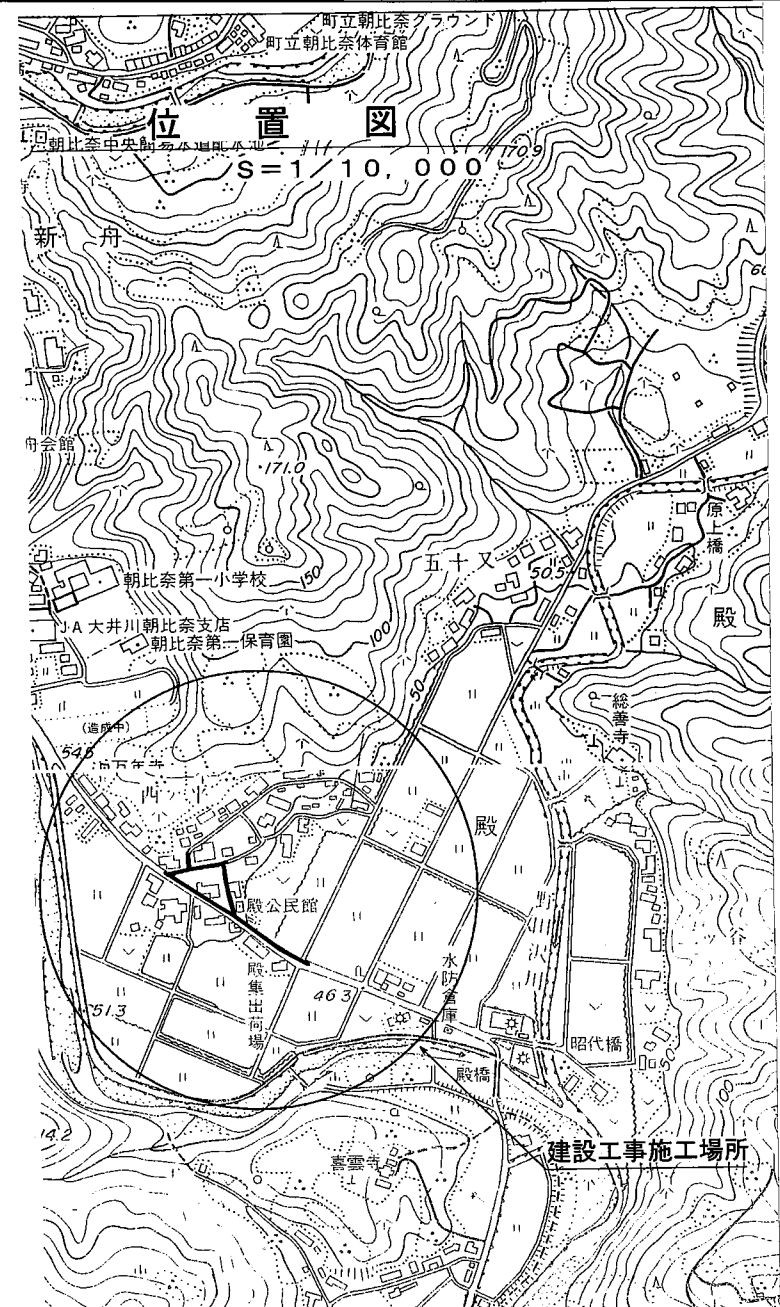
種別	管種	呼径	掘削下幅	砂基礎m3	外径	管下厚	管上厚	基礎総厚
1	HPE管	φ 50	0.60	0.18	0.063	0.10	0.15	0.313
2	HPE管	φ 75	0.60	0.20	0.090	0.10	0.15	0.340
3	HPE管	φ 100	0.60	0.21	0.125	0.10	0.15	0.375
4	HPE管	φ 150	0.60	0.23	0.180	0.10	0.15	0.430

工区	種別	土工延長 (m)	土被り(m)	既設舗装厚 (t)	仮舗装厚 (t)	機械掘削 (m3/m)	平均掘削 (m3/m)	機械掘削 (m3)	砂埋戻し (m3/m)	平均砂 埋戻し(m3)	砂埋戻し (m3)	砕石戻し (m3/m)	平均砕石 埋戻し(m3)	砕石戻し (m3)
A工区	No.0～ No.1+33.24	4	0.8	0.05	0.04	0.62	0.62	45.4	0.23	0.23	16.8	0.37	0.37	27.1
	No.1+38.94 ～No.2+2.82	4	0.8	0.05	0.04	0.62	0.62	2.4	0.23	0.23	0.9	0.37	0.37	1.4
	バイパス管路	3	0.8	0.05	0.04	0.59	0.59	6.8	0.21	0.21	2.4	0.37	0.37	4.3
		3	0.8	0.05	0.04	0.59	0.59		0.21			0.37		
												-0.09		
												-0.09		
	合計	88.6						54.6			20.1			32.8
B・C工区	No.10～ No.11+33.04	3	0.8	0.05	0.04	0.59	0.59	43.1	0.21	0.21	15.3	0.37	0.37	27
	No.20～ No.20+28.94	4	0.8	0.05	0.04	0.62	0.62	17.9	0.23	0.23	6.6	0.37	0.37	10.7
	合計	101.9						61.0			21.9			37.7
D工区	No.30～ No.33+11.51	4	0.8	0.05	0.04	0.62	0.62	81.5	0.23	0.23	30.2	0.37	0.37	48.7
	No.33+11.51～ No.35+23.01	4	0.8	0.03	0.03	0.63	0.63	57.6	0.23	0.23	21.0	0.37	0.37	33.9
	No.35+23.01～ No.35+31.01	4	0.8	0.05	0.04	0.62	0.62	5.0	0.23	0.23	1.8	0.37	0.37	3
	No.35+31.01～ No.35+33.03	4	0.8	0.03	0.03	0.63	0.63	1.3	0.23	0.23	0.5	0.37	0.37	0.7
	消火栓分控除	4	0.8	0.05	0.04	0.62	0.63		0.23	0.23		0.37	0.37	
		4	0.8	0.05	0.04	0.62	0.62	-0.6	0.23	0.23	-0.2	0.37	0.37	-0.3
												-0.09	-0.09	0
												-0.09		
	合計	232.1						144.8			53.3			86
E・F工区	No.40～ No.40+2.78	2	0.8	0.05	0.04	0.56	0.56	1.6	0.20	0.20	0.6	0.37	0.37	1
	No.50～ No.50+4.18	2	0.8	0.05	0.04	0.56	0.56	2.4	0.20	0.20	0.8	0.37	0.37	1.6
	合計	7						4.0			1.4			2.6
合計		429.6						264.4			96.7			159.1

地下埋設物調査書

(岡部町殿地内配水管(老朽管)布設替工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	APφ75	APφ75			
ガス管	施設管理図により、無いことを確認した。				/
大井川広域水道企業団	施設管理図により、無いことを確認した。				
大井川土地改良区	施設管理図により、無いことを確認した。				
N T T ケーブル	埋設物調査Web受付システムにより、無いことを確認した。				NDS(株) Web受付
中部電力ケーブル	埋設物調査Web受付システムにより、無いことを確認した。				中部電力(株) Web受付
下水道管	施設管理図により、無いことを確認した。				/



交通誘導警備員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導警備員の設計計上数量）

第 1 条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導警備員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第 2 条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導警備員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第 3 条 交通誘導警備員は、原則、警備業法（昭和 47 年法律第 117 号一部改正平成 16 年法律第 50 号）第 4 条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導警備員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導警備員の点呼を取り、交通誘導警備員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導警備員を適正に配置するものとする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪日の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪日は地域ごとに算出が困難なため、「0.8」とする。
- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。